

今、わたしは透明な四角の牢獄に囚われている。

なぜ、こんな所にいるかというと一週間前にさかのぼることになる。

ある昼のことだった。茂る草の中を散歩している時、何者かが草をかき分けわたしの胴体をがっしりと捕まえ持ち上げたのだ。捕食する側であるわたしに対してこんなことをするのは、ただではすまさんと思いつきカマを肌色の指に振り下ろしてやった。自慢する訳ではないが仲間内ではとても鋭く形も良いと言われ皆から羨ましく思われているほどの業物である。しかし、痛がるそぶりは見せたもののそれだけであつた。わたしは、パニックになり一心不乱に両腕のカマを振り回した。何者かは驚いたのかわたしの体を捕まえていた力が弱まったがすぐ力を込め直しわたしを何かの入り口へと放り込んだ。ガチャツという音がした。最初は逃れることに成功したと安心したが、隠れようとしても見えない壁に阻まれどこにもいけない。壁にそって歩いて見ることにした。上にも飛んでみた。そして気づいた。見えない壁に上下左右囲まれていることに、逃げ場がない。どうすることもできなかつた。絶望のあまりわたしは、意識を失つた……。

意識を失う時、わかつたことがある。わたしを捕まえ投獄した何者かの正体だ。そいつは、意識を失うわたしを透明な壁の向こう側から満面の笑みでのぞきこんでいた。人間の幼虫だ。人間は恐ろしい悪魔だと聞いている。祖父の話によればその昔、祖父の友人が人間に捕まり首に糸を巻かれて振り回され、その勢いで首がチョン切れてしまったそうだ。しかも、それだけでは飽き足らずその首の切れた死体を何度も何度も高笑いしながら踏みつけ最後はオイルをかけ跡形もなく燃やしてしまつたらしい。わたしは、死を覚悟した。

しかし、人間の幼虫は、毎日モンシロチョウやバッタ、私の好物である食事を用意してくれた。いつも、一日一食も満足に食べられない生活をしていたわたしは、祖父の話の人間とは違う人間の幼虫の行動に戸惑いもしたが一週間たつた今でも、生きている。

牢獄の生活にもなれた。しかし、食事を用意してくれるのはいいのだが人間の幼虫は、牢獄の中を掃除してくれないので食べたら出るものがあたり一面に散らばつた状況になっていた。その臭いを不快に思った時期もあつたが、最近では、嗅覚がおかしくなつたのか臭いを気にすることもなくなつた。何より毎日、食事にありつけるここの生活に満足し始めていた。が、最悪の時は迫つていた……。

ある日、仲間ができた。人間の幼虫が新たなカマキリを捕まえて来たのだ。囚われの身となつ

た彼の話によると、昼寝を楽しんでいる時に捕まり為すべくここに連れてこられたらしい、マヌケな奴だと思った。だが、彼が来たことは、ひとりであることに、寂しさを感じていたわたしにとつてとてもうれしいことだった。そして最悪の時が来た。

投獄生活を共に過ごす仲間を歓迎してやろうとわたしは考えていた。最初の食事は、彼に、好きな獲物を獲らせてやることにしようとしたしは決めた。そして食事の時が来た。今日の食事である獲物達がこの透明な牢獄の中に放たれた。が、わたしは目を疑った。

モンシロチョウ、バッタ、コオロギの中にひととき大きい影があった。わたしは、目を凝らしもう一度、見てみた。全長一八cmはあるかというシヨウリヨウバッタ(草むらでたまに見かけるムダにでかいバッタ)だった。隣にいたマヌケな彼はシヨウリヨウバッタだとわかった瞬間、失神していた。カマキリ界では、シヨウリヨウバッタは、名のあるカマキリ達が食してやろうと挑んだがその度に返り討ちにしてしまったとして恐れられているバッタであった。マヌケな彼が失神してしまうのもしかたのないことかもしれない。だが、とてもひとりで倒せるとは思えなかった。

シヨウリヨウバッタが跳ねた。透明な壁を蹴って跳び回り始めた。シヨウリヨウバッタが壁を蹴る時にコオロギが巻き添えをくらってそのまま息絶えた。モンシロチョウ、バッタも巻き添えになって次々と死んでいった。とりあえずマヌケな彼を安全であろうと思われる牢獄の端へ移動させた。このままでは、わたしもシヨウリヨウバッタの凄まじい蹴りの巻き添えで死ぬことになるだろう。わたしは、覚悟を決めてシヨウリヨウバッタに飛びかかった。シヨウリヨウバッタの首元にしがみつくことはできたが、その皮膚は固く自慢のカマでも傷一つ付けることができなかつた。シヨウリヨウバッタは、その間も牢獄の中を跳び回った。わたしは、離されまいと必死に首元にしがみ付いた。と、シヨウリヨウバッタの固い皮膚にわたしのカマが食い込んだ。その痛みに耐えきれずシヨウリヨウバッタが悲鳴を上げた。その瞬間、シヨウリヨウバッタが跳ぶ態勢を崩し透明な壁に頭から激突した。シヨウリヨウバッタは力尽きた。あっけなく戦いは幕を閉じた。

激闘から数週間、人間の幼虫は、食事を持ってこなくなつた。共食いをした。